

ランピースキン病が国内で初めて発生しました

2024年11月6日に福岡県内の乳用牛農場で確認されました。

ランピースキン病はウイルスによる牛の伝染病です。主に蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により拡大します。感染した牛は全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
家保に連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

お問い合わせは各家畜保健衛生所までご連絡ください。

- ・ 鳥取家畜保健衛生所 Tel: 0857-53-2240
- ・ 倉吉家畜保健衛生所 Tel: 0858-26-3341
- ・ 西部家畜保健衛生所 Tel: 0859-62-0140